

## 五條市耕畜連携座談会について（開催報告）

### 開催の経緯

昨年度開催された第2回耕畜連携モデル推進会議にて、生産者より「地元で耕種農家と畜産農家が集まった話の場を作っていくべき」との意見があった。そこで、五條市に協力いただき、令和6年8月に「五條市耕畜連携座談会」を開催した。

### 参加者

耕種農家	農事組合法人ゆめ野山、農事組合法人丹生の里 六倉集落営農組合、野原池芝地区
畜産農家	池下牧場、北山畜産
関係機関	五條市役所 農林政策課
県	南部農林振興事務所 農業振興課、 畜産技術センター 研究開発第二課、 農業水産振興課、畜産課

### 座談会であがった発言・意見など

（耕種農家）

- ・堆肥散布作業を委託できると良い。堆肥散布を円滑に行う仕組みがあると良い。
- ・県設定の産地交付金について、稲わら利用でもらう堆肥には産地交付金の耕畜連携助成が受けられない。また、飼料用米のわら利用 10,000 円/10a を飼料作物の堆肥散布 13,000 円/10a と同額にしてほしい。

（畜産農家）

- ・WCS の品質を肉牛用、乳牛用でわかれているとよい。WCS はずっと使っているが、肉牛、乳牛で必要な品質が異なる。肉用牛には青刈りのもので作った WCS を与えると肉質が落ちるので、11 月頃に収穫する、実の入った硬くなったものを年間通じて利用している。
- ・堆肥置き場、WCS の置き場の倉庫を耕種農家の圃場の近くに置けるといいと思う。